【資料４－１】

第５次くまもと２１ヘルスプラン　基本ロジックモデル

・健康食生活・食育の推進 ・管理栄養士・栄養士等の食に携わる人材の育成	栄養・食生活	より良い生活習慣の形成・生活習慣の改善（一次予防）	→	生活習慣病の発症予防・重症化予防	→ 死亡率の低下 →	健康寿命の延伸・健康格差の縮小
・身体活動・運動の習慣化を図るための取組みの推進 ・人材育成と関係機関の連携強化 ・子どもの体力向上に向けた取組みの推進	身体活動・運動					
・睡眠やこころの健康づくりの重要性に関する普及啓発 ・家庭での早寝早起きの推進	睡眠・休養					
・歯周病予防に関する普及啓発 ・6024運動・8020運動の推進 ・歯科保健環境の充実 ・むし歯予防及び歯肉炎予防対策の推進 ・子どもの歯や口腔機能の発達を促す食生活習慣づくり	歯・口腔					
・たばこの健康への影響に関する知識の普及 ・禁煙希望者に対する禁煙支援 ・適正飲酒に関する普及啓発 ・多量飲酒防止対策の推進 ・未成年の喫煙・飲酒防止対策の推進	喫煙・飲酒					
・特定健康診査・特定保健指導 ・がん検診	健診・検診	早期発見（二次予防）	→			
・がん医療提供体制の整備 ・患者等の生活の質の向上 ・がんに対する正しい理解の促進	がん	生活習慣病り患者へのサポート	→			
・医療提供体制の強化 ・早期発見（健診以外）	循環器病					
・重症化予防の推進 ・医療連携体制の強化 ・人材育成	糖尿病					
・働く世代のこころの健康づくり ・自殺予防対策	こころの健康づくり		→	生活習慣病以外のリスク要因の低減	→ 生活機能の維持・向上 →	
・ロコモティブシンドローム予防 ・高齢者の食を通した健康づくり ・高齢期における歯や口腔の健康づくり ・高齢期のいきがい就労や健康づくり ・介護予防の取組みの充実 ・認知症発症予防・早期発見対策	高齢者の健康づくり					
・健康的な食・住環境整備 ・運動・身体活動を促す環境整備 ・受動喫煙防止対策	自然に健康になれる環境づくり	社会環境の質の向上	→			
・ICTの活用 ・周知啓発	健康情報が入手・活用できる基盤構築					
・健康経営の推進 ・企業、県民等と連携した健康づくりの展開 ・保険者による取組み ・熊本県健康増進計画、市町村健康増進計画による健康づくりの推進	多様な主体による健康づくり					
・被災者の健康管理体制の整備 ・新興感染症等を見据えた保健活動実施体制の整備	非常時（災害・新興感染症等の感染拡大）の保健活動体制の整備					
・妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目ない支援体制の整備 ・早産予防対策の推進 ・思春期における身体とこころの問題への対応	次世代の健康づくり	ライフステージ特有の健康課題に応じた施策の推進	→			
（子ども部分再掲）	より良い生活習慣の形成					
（再掲）	高齢者の健康づくり					